

一般社団法人 日本医療検査科学会
2020年度 第2回理事会 議事録

開催日時： 2020年5月23日（土）13時00分～15時00分
開催場所： 日本医療検査科学会事務局より web 会議
主 席 者： 萱場広之理事長、横田浩充副理事長、康東天理事、澤部祐司理事、
 〆谷直人理事、高橋聡理事、通山薫理事、萩原三千男理事、
 日高洋理事、村上正巳理事、和田隆志理事
 白井秀明監事、内海健監事、藤巻慎一オブザーバー
欠 席 者： なし

議 題

1. 理事長挨拶

萱場理事長より、ご参集頂いたことへの謝辞があった。

2. 報告事項

2-1. 総務職務報告（横田副理事長）

5月21日にJACLaSとの打ち合わせを行った。現時点では大会・展示会を実施する方向で準備を進めている旨の報告があった。5月23日現在では演題数は100件のため演題登録の声掛け進めることとなった。

2-2. 地域担当報告（各理事）

特になし

2-3. 2020年度春季セミナー会計報告（石川）（資料1）

来年度の助成金は、今年度の支出額約70万を助成すると会計報告があり承認された。

2-4. 国際交流委員会より（康理事）

萩原理事・工藤先生とミャンマーに行き、ASEANの技師会会長・企業の方々とミーティングを行った。NCGM（国立国際医療研究センター）より事業への協力要請があり国際医療協力局、国際交流委員会、微生物検査・感染症委員会と「国際展開推進事業 ミャンマー事業に関する打ち合わせ」についてオンライン会議を行った旨の報告があった。

2-5. 第52回大会一般演題、JACLaS Award 登録数（事務局）

一般演題：99件

JACLaS Award I：12件

JACLaS Award II：10件

21日のJACLaSとの会議の際、JACLaS Award Iの受賞者は5名程度となるが、受賞者以外の方にも一般演題として発表できる事を提案し、発表の際にかかる交通費はJACLaSが負担する方向で声掛けをする事となった。合同交流会は三密を避ける為、中止にする事となったと報告があった。

2-6. 第52回大会について（横田副理事長）（資料2）

横田副理事長の所属が慶應義塾大学病院へ変更となった。シンポジウム4は演者が確定していない為抄録登録が出来ていない。シンポジウム6は海外からの演者を予定していたため渡航できない可能性があるため、オンラインや録画などの発表方法を検討しながら依頼を進めていくこととなった。私立医科大学臨床検査技師会共催シンポジウムは全く進んでいない為、催促を行っている。技術セミナーでは遺伝子・プロテオミクス技術セミナー、POCセミナーではコロナを取り上げた内容のセミナーを行う予定している。微生物検査・感染症技術セミナーでは JACLaS 共催シンポジウムとして、2時間枠を設けて「コロナ PCR 検査の課題と現状」を予定し準備を進めている。サテライトセミナーの意見交換会は行わない事で依頼することとなったと報告があった。セミナーや講演に関して密を避ける会場作り、モーニングセミナー・ランチョンセミナーなど会場内での飲食方法などが課題となった。「スクール形式の会場なので、席の間隔をあける」「使用していない会場を食事場として開放する」「モーニングセミナーは3部屋を開放し中継形式で行う」などの意見があがり、状況を見ながら検討を進めていくこととなった。

2-7. その他

事務局より、JACLaS 共催 IVD-MD マーケティングセミナーは AACCC の先生を呼ぶ予定であったが現状難しい為、日本人の方が英語で講演する予定との報告があった。

3. 審議事項

3-1. 学術委員会委員異動申請（通山理事）（資料3）

資料に基づき説明があり、審議の結果申請通り承認された。

3-2. 第36回（2022年）例会長について（萱場理事長）

資料に基づき説明があり、審議の結果以下が例会長として承認された。

- ・末岡 榮三朗（佐賀大学）

3-3. 名誉会員・功労会員選出（事務局）（資料4）

資料に基づき説明があり、審議の結果以下が名誉会員・功労会員として推薦されることが決まった。

- ・名誉会員

松尾 収二（公益財団法人天理よろづ相談所病院）

- ・功労会員

柴田 綾子（慶應義塾大学病院）

船渡 忠男（東北福祉大学）

松原 朱實（熊本保健科学大学）

3-4. 定時社員総会議事案関連（横田副理事長）

送付資料と式次第の確認をし、以下が修正された。

- ・監査報告書：公認会計士と監事のサインを入れる
- ・第3号議案：新規功労会員の選出は上記の3名を追記する

- ・第2号報告：第35回春季セミナー例会長を追記する
- ・返送出欠ハガキ：審議事項に記載してある氏名を番号に変更する

3-5. その他

・萩原理事より、「国際展開推進事業 ミャンマー事業に関する打ち合わせ」について説明があった。NCGM の医療技術等国際展開推進事業の一つとして、「ミャンマー国における薬剤耐性（AMR）サーベライズと抗菌薬適正使用（AMS）の強化事業」があり、この状況下の中で「On-line による教育支援」が施行されており当学会に研修用の教材作成支援が求められている。理事会にて承認を得てからの事柄ではあるが、委員会活動の中核として進めていきたいと考えている。また分野が微生物領域の為、柳原先生（微生物検査・感染症委員会委員長）および委員会の皆様に力添えをいただく了承も得た。教材作成にかかる経費は厚労省予算より 100 万円程度の費用支出は可能との事。もし理事会で承認された場合の会計処理は、都度請求になるのか、NCGM に委託となるのか二種類の方法が考えられる。今後上記の様な活動を進めたいとの報告があり承認された。

・和田理事より、第2回医療情報技術セミナー開催にあたり、サポートスタッフを募集したいとの提案があり承認された。

・萱場理事長より冊子制作費用の確認があった。総説執筆者に別刷りで50部送っている件について、高橋編集委員長にて検討することとなった。

- ・次回の理事会：6月20日（土）13：00-14：00 学会事務局より WEB 会議
- ・定時社員総会：6月20日（土）14：30-15：00 学会事務局より WEB 会議

以上

2020年 8月 31日

一般社団法人 日本医療検査科学会

議 長

萱場 広之



議事録署名人
(出席監事)

白井 秀明



議事録署名人
(出席監事)

内海 健

